

## 2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 9月 30日
- 事業名 : 生きづらさを抱える子どもや若者、またその家族が安心できる居場所づくり
- 資金分配団体 : 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター
- 実行団体 : 特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ

### ① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
【居場所】居場所が整備され受け入れ体制ができ、地域に周知されている。	①居場所の利用者数	①30人/月	2024年1月	①26人/月 (オンライン含む)	2
	②地域の来場者数	②100人		②16人	3
	③語り場カフェ開催回数	③36回		③16回	1
【実施体制整備】スタッフが理念を理解し、共有している。課題が出たときにアドバイザーや関係機関と相談して解決するための体制ができている。	①研修動画本数	①10本	2024年1月	① 5本	1
	②スタッフカフェ開催回数	②18回		② 5回	2
	③対話した関係機関の数	③10箇所		③ 4箇所	2

<p>【学びの支援】 個々の状態や特性に適した学びの方法や場所が提案できている。</p>	<p>①ヨッシークラブコンテンツ数 ②ヨッシークラブ実施回数 ③ヨッシークラブ参加者数</p>	<p>①20 コンテンツ ②100 回 ③150 人</p>	<p>2024 年 1 月</p>	<p>① 5 コンテンツ ②20 回 ③65 人</p>	<p>2 2 1</p>
<p>【生きる力の支援】 個々の状態や環境、特性に適した体験や出会いの場が提供できている。地域の名人や職業人の協力を得て興味のある活動を提供できている。</p>	<p>①生きる力バリエーション数 ②ソーシャルスキルトレーニング回数 ③体験協力企業・名人数</p>	<p>①20 バリエーション ②10 回 ③20 人</p>	<p>2024 年 1 月</p>	<p>① 5 バリエーション ② 0 回 ③ 7 人</p>	<p>3 3 2</p>

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・ 消毒、換気の徹底。 ・ オンラインの活用。 ・ ウェブ開所式、ウェブ内覧会などの動画作成。

## ③ 広報（※任意）

### 1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

NHK鳥取放送局（イロドリ 7/14）

日本海新聞（7月）、朝日新聞（7/16）、毎日新聞（7月）、山陰中央新報（7月）、てとり会報（9月）

### 2.広報制作物等

紹介リーフレット、

ホームページ (<https://sites.google.com/view/npo-tsumugi/>)

YouTube チャンネル (<https://www.youtube.com/channel/UCxHb80aXbfi9xvFXAnVu3UQ>)、

Facebook (<https://www.google.com/url?q=https%3A%2F%2Fwww.facebook.com%2Ftumuginpo&sa=D&sntz=1&usg=AOvVaw3--yMKpofiM3bAstltcScz>)、

Instagram

(<https://www.google.com/url?q=https%3A%2F%2Finstagram.com%2Ftottori.tsumugi&sa=D&sntz=1&usg=AOvVaw2VCCnP2eKmVpGY11CF1T6R>)

Twitter

([https://www.google.com/url?q=https%3A%2F%2Ftwitter.com%2Ftottori\\_tsumugi&sa=D&sntz=1&usg=AOvVaw1RmrX9VT0HTO40rXY4osv0](https://www.google.com/url?q=https%3A%2F%2Ftwitter.com%2Ftottori_tsumugi&sa=D&sntz=1&usg=AOvVaw1RmrX9VT0HTO40rXY4osv0))

### 3.報告書等

## 2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

### 評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
内部	支援内容	河本 純子	特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ 理事長
内部	活動内容	遠藤 明子	特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ 副理事長
内部	実施体制評価	市川 義章	特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ 事務局長

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
不登校、ひきこもり、発達障害の困り感のある子どもや若者、その家族	①対象者が居場所利用後に良い変化が見られたか。 ②2回以上の利用者の割合 ③SNS フォロワー数 ④関連機関の紹介窓口の数	①居場所利用者の変化した状態(個人記録) ②50%以上 ③累計 1000 フォロワー ④20 件	2024 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所が整備できたことで、地域の対象者や相談機関や窓口の期待が大きいことを認識した。</li> <li>・当事者が、自分の興味を通して他者と交流するための場所として活用したいという申し出が複数あった。受け入れられる場所としての認識や安心感がこのような行動につながったと考えられる。</li> <li>・居場所があることで支援対象者だった若者たちが、自ら行動しようとするきっかけになった。</li> </ul>

				<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談からヨッシークラブや学習支援に繋がることが多い。</li> <li>・フォロワー数(9/25 時点)facebook292、Instagram27、twitter6、</li> <li>・行政窓口他からの紹介 3 件</li> </ul>
当法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>①認定 NPO 法人認証の要件を満たしたか。</li> <li>②非営利組織評価センター(JCNE)のベーシックガバナンスチェックリストを通過したか。</li> <li>③関係機関との連携件数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①要件を満たした。</li> <li>②通過した。</li> <li>③3 件</li> </ul>	2024 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人としての事務が滞りなくできている。</li> <li>・必要な規程類を全て整備した。</li> <li>・寄付集めの活動を実施している(「ギフ鳥」、peatix、振込)</li> <li>・ベーシックガバナンスのチェックリストを確認した。</li> <li>・連携件数 (役場5件、小学校 1 件、高校 1 件)</li> </ul>
不登校、ひきこもり、発達障害の困り感のある子ども(義務教育終了まで)、その家族及び支援者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①対象者がヨッシークラブ利用後に良い変化が見られたか。</li> <li>②行政対象者ではない(連続して 30 日未満の欠席者、グレーゾーン等)不登校の子どもや家族の支援ができたか。</li> <li>③進路に関する情報提供回数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①対象者の変化した状態(個人記録)</li> <li>②制度の狭間にある人の支援が行われた。</li> <li>③50 回</li> </ul>	2024 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最近見られていない伸び伸びと遊ぶ姿が見られた」「家に帰ったら楽しかったことをずっと話していた」「また行きたいと言っている」と家族から感想があった。</li> <li>・元不登校で学習に不安のある生徒、登校しぶりの生徒など、支援の対象の狭間である子どもや若者の相談の場となっている。</li> <li>利用生徒家族から「学びの支援によって学習に自信ができた」と報告があった。</li> <li>・進路情報についてのイベントを計画中(10月実施予定)</li> </ul>

不登校、ひきこもり、発達障害の困り感のある若者(義務教育終了後)、その家族及び支援者	①対象者が利用後に良い変化が見られたか。 ②行政対象者ではない(6ヶ月未満のひきこもり者、グレーゾーン等)若者や家族の支援ができたか。 ③体験や出会いの場の提供回数	①対象者の変化した状態(個人記録) ②制度の狭間にある人の支援が行われた。 ③60回	2024年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりの家族の相談があり、数回にわたってカウンセリングを行ない、家族の安定が得られた。</li> <li>・6ヶ月未満のひきこもり者、グレーゾーンの若者が、相談に行こう、やりたいことを伝えてみようという行動が見られた。</li> <li>・義務教育終了後の者に対して、体験の場として、藍染め体験(1回)、TRPG(1回)、カードゲーム(1回)、大人の科学遊び(1回)、つむぎカフェ(16回)など合計20回の体験や出会いの場を提供した。</li> </ul>
--	--	--	---------	--



#### ④ アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」 (※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察
アウトプットが予定通りに実現できているか。	概ね順調に進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に係る協力者が見つかったことで、定期的に活動を実施できている。</li> <li>・親の会のメンバーの安定した利用がある。</li> <li>・SNSやホームページ、口コミなどによる問い合わせが増えている。</li> <li>・行政や学校からの紹介もあり、認知が進んでいる。</li> </ul>
活動により、初期アウトカムは算出されているか。	概ね順調に進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貢献要因 上記に同じ</li> <li>・改善点 ニーズに合った支援になるよう、スタッフ配置を工夫する必要がある。</li> </ul>

事業の実施状況に基づいて、活動内容や様式の必要な見直しが行われているか。	概ね順調に進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大により実際に集まることが難しいので、委員会活動ができていない。</li> <li>・運営委員の参加意欲を十分に引き出せていない。</li> <li>・当法人の活動内容に賛同して共に活動したいという協力者が複数人現れており、活動を始めている。</li> <li>・運営委員で回していこうと考えていたが、個々の意欲に応じた事業運営の再構築が必要になると考えた。</li> </ul>
外部組織評価と認定 NPO 法人認証のために組織体制で重視することについて合意されたか。	概ね順調に進んでいる。	通常総会において会員に説明した。 ベーシックガバナンス診断に向けて準備中。



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい と自己評価する	現時点で順調に数値目標が達成できている。 社会課題に沿った目標になっているし、方法も当事者目線になっていて、当事者や家族の満足を得ている。 地域社会からも信頼できる居場所としての評価を得られつつある。

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトプットが予定通りに実現できているか</li> <li>・活動により初期アウトカムは算出されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定通りに進んでいる</li> <li>・予定通り進んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの熱意と共に、SNS などでの発信により、当初想定していなかったボランティア人材が集まり、より充実した活動につながった。</li> <li>・居場所「つむぎ」ができたことで、今まで関心を持っていても発揮する場のなかった人たちの活動の場となっている。また、その人たちが人を呼んでいる。</li> <li>・内覧会がウェブ開催だったため、近隣との関わり、公民館などとの関わりが薄く、今後のアプローチが課題。</li> </ul>
実施をとおした活動の改善、知見の共有	事業の実施状況に基づいて、活動内容や様式の必要な見直しが行われているか。	・やや遅れている	・実施に力を注いでしまっているので、活動内容についてはその都度話し合いをするが、様式の見直しに至っていない。
組織基盤強化・環境整備	外部組織評価と認定 NPO 法人認証のために組織体制で重視することについて合意されたか	・やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員全員で項目等について確認し合意できているが、実施計画等については具体化されていない。</li> <li>・外部アドバイザーからの客観的なアドバイスを依頼中。</li> </ul>



## ② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

<居場所について>

スタッフの熱意があった。

SNS などでの発信が頻回であるため、ウェブを見て訪れる場合や寄贈やボランティアも多い。

当初想定していなかったボランティア人材が集まり、より充実した活動につながった。

居場所「つむぎ」ができたことで、今まで関心を持っていても発揮する場のなかった人たちの活動の場となっている。また、その人たちが人を呼んでいる。

<学びの支援・生きる力の支援>

相談からスタートして相手の状態やニーズから学びの支援や生きる力の支援をスタートした。

当事者の立場で無理のない支援をしている。

<実施体制整備について>

ギフ鳥に参加することで、寄付の申し出があった。

事務力セミナーなどに参加することができ、事務の年間スケジュールや労働契約などについて理解できた。

## ③ 事前評価時には想定していなかった成果

安心できる、受け入れられると感じることのできる居場所ができたことによって、支援対象者が居場所を活用して自身のやりたいことを始めようとする行動が複数見られた。条件を整えば、誰かに背中を押されなくても、自分の方から行動に移すことができる場合があることがわかった。



## ④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</li><li><input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</li></ul> <p>と自己評価する</p>	<p>居場所の周知が広まるにつれて、協力者や利用者が増えつつある。居場所の存在価値は非常に高く、ニーズも大きく、期待も大きい。それに応えるべく、現在の実施計画を遂行していくことが大切である。相談者の実情に合ったイベントや支援を無理なく提案できていることは、当事者団体としての特徴を発揮できていることも要因と考えられる。行政や中間支援組織との連携もあり、事務や寄付集めをスムーズに実施できることが見込める。</p>

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

様式、記録の整備。個人情報の保管、支援者の体制整備、近隣へのアプローチなどについて取り組みたい。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

